



にじいろ便り 第11号

社会福祉法人 楽山会 第二稚の美子供の家
令和5年2月1日(水)

1月後半は急に寒波がやって来て冬将軍のお出ましでした。このまま冷え込みが厳しい2月になりそうですね。けれども梅はひっそり寒さに耐え、花を咲かせている姿を見せてくれています。そして子ども達は寒さの中でも、バケツに薄氷が張っているのに気付き、氷を割ってみたり、霜柱を触ってみたり、冬ならではの体験を楽しんでいる様です！

インフルエンザにご用心！感染症対策

新型コロナウイルス感染症と共にインフルエンザが流行る季節になりました。下記の予防対策を万全にしましょう！

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 外出後の手洗い等
- ③ 適度な湿度の保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 人混み繁華街への外出を控える



手作りおもちゃ

ダンボールキャタピラ

外は風が冷たく寒いし、つい出不精になってしまうこの季節。室内遊びでは子どもの体力が発散できずに困った～！・・・なんてことがありますよね！そんな時はダンボール1つで遊べる製作が役立つはず！

ダンボールの折りたたみ部分を切って、輪の状態にするだけ。

切り口にガムテープなど貼っておくと安心です！ダンボールの中でハイハイするだけでキャタピラに変身！ダンボールを立てて、ちぎった新聞紙を詰めればお風呂、おままごとを持ち込んで、お家など、色々な遊び方ができそうですね！



おうちでできるモンテッソーリ教育



言語の敏感期



「言語の敏感期」は胎児の時期から始まっています。0～3歳までは「無意識的な記憶」という形で、耳にした言葉をどんどん吸収していきます。そして3歳が近づくと吸収して一杯になった言葉がどっと溢れ出る「言語の爆発期」が訪れます。子どもは、吸収し、蓄積した情報を「はっきり、くっきり、すっきり名前をつけて理解したい」という強い衝動が生まれ、「これなあに？」の連発がスタートします。

この時期に家庭ですてあげたいこと

この時期には「感覚」の敏感期が重なり、ものを表現する言葉の形容詞を身につけていきます。「大きい」「柔らかい」「ざらざらしている」「つめたい」など、たくさんの感覚の体験があればあるほど言葉も広がり豊かになります。日々の生活が忙しく、お子さんの「これなあに？」にじっくり付き合う時間を取ることが難しいことがあるかもしれませんが、子どもが自ら興味を持った時が一番のチャンスです。この時期に記憶した言葉はずっと心に残り、その先の人生の土台になります。子どもがお話ししてくれることは否定せず、まずは「うん、うん、そうなんだね」と聞いてあげてみて下さいね。

お子さんも気持ちよくなりますお話ししたり、自分でみたもの、感じたことを言葉で思い通りに表現することを楽しむようになると思います。



★ 一時預かりやっています！ ★

お仕事やお子様を連れて行くことが出来ないお出かけの時、また大人のリフレッシュ時間などにご利用いただけます。

問合せ先/0422-44-4103 (担当/金子)